

# 会報



## 広島県高P連

## NO. 159

### 発行所

広島市中区八丁堀11番28号  
朝日広告ビル4F  
広島県高等学校  
PTA連合会  
電話(082)223-3347  
FAX(082)223-3351  
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp



### 就任御挨拶

広島県高等学校PTA連合会

会長 北村 正次

二十九年度総会において、会員の皆様方の同意を頂き、承認され、今年度も広島県高等学校PTA連合会会長を務めさせて頂きます、北村です。

これまでの二年間の会長の経験を活かしながら三年目の今年度は、今まで同様「子供たちのために」を基本に頑張って行きたいと思っておりますので、会員の皆様方の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、子供たちを取り巻く教育環境も日々目まぐるしく変わって行っています。ネット社会による、いつ如何なる時でも自分の知りたい情報は好きなだけ入ってくる時代です。

これからのことを見据えて、学習指導要領書の改訂やセンター試験がなくなり、大学入学希望者テストに変わる入試制度改革等の教育改革が行われることや、AI（人工知能）問題などの子供たちに関わる事が次から次へと問題は山積し、日々変わってきています。

私達PTA、保護者もそういった情報を集め、勉強し、子供たちのために

役立てていかななくてはなりません。

県高P連としても、中国・四国地区高P連や、全国高P連からの情報を収集し皆様方へ発信し「子供たちのために」なるよう活動をしてまいります。

そのために今まで同様五つの委員会も活発に活動してもらいたいと思っております。

その内容として、総務委員会は、本会の運営、企画、教育委員会への要望書の取りまとめと陳情や情報収集、福利厚生に関する事。研修委員会は、二回ある単P会長研修会の企画運営、その他会員の研修に関する事。調査広報委員会は、PTA活動等の調査・研究、広報活動の推進、年三回の会報の発行等に関する事。健全育成委員会は、生徒の健全育成事業及び活動、交通安全の推進、社会教育関係事業等に関する事。進路対策委員会は、生徒の進路（進学・就職等）、情報の収集・調査研究、その他生徒の進路に関する事。このように年間、何らかの形で各委員会が活発に活動し、子供たちのために頑張っております。

この活動を通じて二十九年度の事業方針にあるように、「自ら学び、考え、主体的に判断し、行動できる力を持ち、創造性に富む、心豊かな児童・生徒の育成は、教育の原点は家庭にあることを自覚し、生起する社会の諸問題等当面する課題解決のため、県高P連として、家庭の教育力向上、学校・家庭・地域の連携強化、ならびに開かれた学校づくり・特色ある学校づくりに協力するPTA活動を推進する。」を今年度も基本とし、広島県内八地区連と連携を密にしなが情報共有し、PTA会員の一人一人が意識を高め合い、広島県の未来ある子供たちのために頑張っていきたいと思います。

そのために今年度も既にスタートしましたが、第一回単P会長研修会、県内国公立大学及び海上保安大学の説明会並びに学校法人河合塾広島校毛利美佳校舎長による進学説明会、広島西地区主管の県大会、先進校視察、挨拶運動、第二回の単P会長研修会、教育委員会への要望書作成、各種大会への参加等の事業や取組みを行ってまいります。

終わりに、皆様方がPTA活動に興味を湧き、意識を向上させ、せっかくするのだから我が子を一生懸命応援して楽しく有意義なPTA活動が送れ、「子供たちのために」なることを祈念致します。挨拶とさせていただきます。

# 平成二十九年定例総会

とき 六月十三日（火）  
ところ 広島県民文化センター

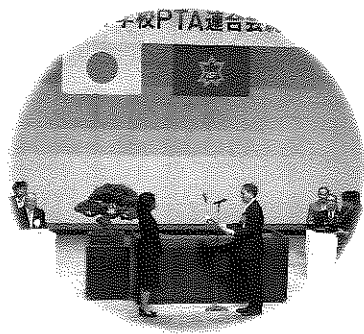
平成二十九年定例総会を、被表彰者を含む三百十二名の会員の皆様に御出席いただき開催致しました。

司会は、前年度県高P連総務委員長二宮仁広島県立安芸南高等学校PTA会長に行っていたきました。開会のごときは、国歌斉唱のあと北村正次会長が挨拶を行いました。



続いて、PTA活動に御尽力いただいた会員の感謝状・記念品贈呈を行いました。まず始めに広島県教育委員会教育長感謝状が、下崎邦明県教育長より、受賞者三名を代表して、広島県立廿日市特別支援学校衣笠有美子前PTA会長に授与されました。次に、県高P連会長感謝状が、北村正次会長より、受賞者百三十六名を代表して、広島県

立安芸高等学校木下眞由美前PTA会長に授与されました。



被表彰者を代表し、広島市立沼田高等学校石橋良修前PTA会長が謝辞を述べられました。



続いて、御来賓の高垣広徳広島県副知事、高山博州広島県議会副議長、広島県教育委員会下崎邦明教育長、広島市教育委員会荒瀬直美青少年育成部長、広島県公立高等学校長協会好村孝則会長より御祝辞をいただきました。御祝辞をいただいた五名の御来賓以外に、広島県PTA連合会松本恵行会長、広島市PTA協議会三好尚子専務理事、

広島県公立高等学校教頭会島田俊明会長、広島県公立学校事務会長藤田晃明会長、県高P連小川嘉彦元会長、中河原圭司元会長に御臨席賜りました。

総会議事にうつり、議長に根来寿雄副会長、議事録署名人に、広島県立西条特別支援学校酒井光PTA会長、広島県立五日市高等学校讀井一裕PTA会長を選任しました。伊福聡副会長より平成二十八年度会務・事業報告し、承認されました。土谷流廣会計が会計ごとに会計決算報告を説明し、監査報告を、監査委員の広島県立呉三津田高等学校福田多喜二PTA会長が報告、

振興事業特別会計の繰越金について、将来の使途などについての御質問があり、見舞金給付事業として共済事業を行っていたが、法律改正のため事業ができなくなり、PTA・教育振興特別会計として子供たちのために使っているのので少しずつ減少している旨を説明しました。

この経緯はわかりづらいので、総会の際には説明と、記載をする、また、特別行事項積立金の運用についての御質問には、次の大会時（平成三十二年）に充てると回答し、承認されました。

次に役員選任にうつり、平成二十九年県高P連会長には引き続き、北村正次会長が選任されました。県高P連副会長五名には、広島県公立高等学校長協会から広島県立廿日市高等学校川端一弘校長、根来寿雄副会長、伊福聡副会長、岡本知子副会長が引き続き選

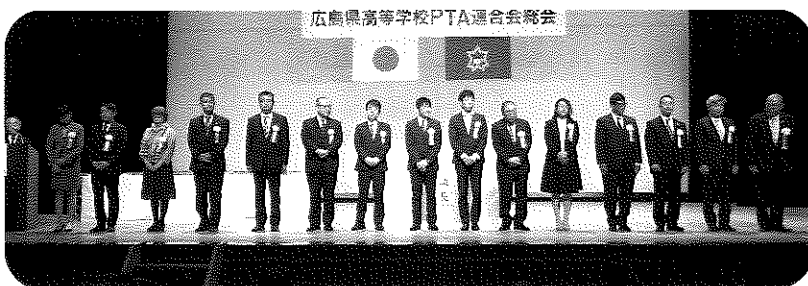
任され、新たに、広島県立安古市高等学校久保田勇治PTA会長が選任されました。

各地区連合会より選出された県高P連幹事、監査、常任委員は、提案どおり承認されました。旧役員を代表して、土居篤史前副会長の退任挨拶並びに、新役員を代表して北村正次会長が挨拶を行いました。

平成二十九年定例事業方針（案）事業計画（案）を北村正次会長より提案し、承認されました。

続いて予算（案）を提案し、承認されました。議事終了後、閉会のごとで総会を閉会いたしました。

その後、リーダーガロイヤルホテル広島にて、新旧役員・会員の歓送迎会をかねた情報交換会が行なわれ、三百二十五名の会員の方の参加で盛会のうちに終了致しました。



（県高P連事務局）

## 平成二十九年 第一回常任委員会

とき 六月二十七日(火)  
 ところ 広島YMCA本館会議室

平成二十九年第一回常任委員会が四十六名の会員が参加し開催されました。

司会は、久保田勇治副会長が担当し、北村正次会長の挨拶のあと、御来賓として出席された広島県教育委員会事務局生涯学習課十時明子課長、広島県公立高等学校長協会川端一弘副会長より御挨拶を賜りました。

次に、定足数の報告を行い、常任委員会成立を報告致しました。

議長には岡本知子副会長を選出し、議事録署名人に広島市立安佐北高等学校・広島中等教育学校山本祐二PTA会長、広島県立呉宮原高等学校是貞聡志PTA会長を選出しました。

議事にうつり、まず、顧問・参与の委嘱について、人事案を提案、原案どおり承認されました。

次に、平成二十九年県高P連事業については、

### ①単P会長研修会

第一回(七月二十九日)  
 広島YMCA 多目的ホールほか  
 第二回(平成三十年一月二十日予定)

広島YMCA国際文化ホールほか

第一回は時間の関係上、県連会長・

副会長・事務局で計画し、第二回は、研修委員会が中心となり、委員会活動の一端として企画立案・実施することなどの説明

### ②広島県大会

平成二十九年十月一日(日)  
 廿日市市文化ホールさくらびあ  
 広島西地区連合会主管により実施

### ③進学説明会

平成二十九年八月十一日(土)  
 広島県民文化センター  
 進路対策委員会が中心となって実施

### ④全県一斉あいさつ運動

平成二十九年十一月一日(木)  
 昨年に引き続きポスター募集実施などの報告がありました。

議事終了後、各委員会に分かれて委員会協議を行いました。  
 各委員会では委員長、副委員長の互選並びに本年度事業計画について協議いただきました。

その後全体会で各委員会委員長より委員長・副委員長の発表、一年間の委員会活動について報告され、すべての議事が滞りなく終了致しました。

各委員会の委員長・副委員長は次のとおりです。

(県高P連事務局)

総務委員会	(委員長)	広島県立広島国泰寺高等学校	PTA会長	和田	守明二
	(副委員長)	広島県立広島高等学校	PTA会長	原弘	賢二
研修委員会	(委員長)	広島県立高陽東高等学校	PTA会長	熊原	千恵
	(副委員長)	広島県立安芸高等学校	PTA会長	西林	千樹
調査広報委員会	(委員長)	広島県立松永高等学校	PTA会長	木村	昌博
	(副委員長)	広島県立三原高等学校	PTA会長	古谷	史泉
健全育成委員会	(委員長)	広島県立東城高等学校	PTA会長	桑原	上博
	(副委員長)	広島県立総合技術高等学校	PTA会長	井上	徳和
進路対策委員会	(委員長)	広島県立可部高等学校	PTA会長	中田	佐子
	(副委員長)	広島県立海田高等学校	PTA会長	谷充	浩

## 第五十九回 中国・四国地区高等学校 PTA連合会大会山口大会

とき 七月十四日(金)  
 ところ 海峽メッセ下関

梅雨が明けず蒸し暑い七月十四日(金)、海峽メッセ下関を会場として第五十九回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会山口大会が行われました。会場に着くと山口県内の高校生が自ら製作した乾麺やキーホルダー等を販売し、活況を呈していました。会場に入ると、人、人、人の熱気：中・四国地区PTA関係者千六百十九名が参加とのことでした。



すぐにステージ上の山口県を表現した関門大橋や宮本武蔵などをあしらった屏風に目が行きました。あとで司会者から

説明があり、下関中央工業高校が創立百周年記念に、なんと爪楊枝五十二万三千本で制作したものとすることで、それを聞いて驚嘆しました。昼休憩にステージに上って間近で見ると着色されたつま楊枝を配列して制作されており、その細やかさに感動しました。白木前西京高等学校PTA会長の玄人真つ青の司会振りに、会場がざわつく中で開会(あとで調べたら本物のアナウンサーでした)、選抜高校野球開会式で国歌独唱されたことがある下関出身のソプラノ歌手野々村彩乃さんの澄んだ声での国歌独唱後、副実行委員長の開会宣言、板谷実行委員長(中・四国地区高等学校PTA連合会会長)挨拶、来賓である山口県知事代理山口県教育長の挨拶がありました。共通の話題として、先の九州北部の豪雨災害の哀悼・お見舞いの意を述べられた後、近代日本の夜明けとなった明治維新からもうじき百五十周年とのことで、功労者である山口県出身の高杉晋作の「志」を引き合いに出され、特に実行委員長からは、保護者とは、これからの時代を生きていく子供たちが主体的に「志」を形にして活動することをはっきり支えることが大事という言葉をいただきました。つまり今回のテーマである子供たちの応援とは「志」を育み、応援することなんだと解釈しました。開会行事後、「これから高校教育とPTAの役割」というテーマで文部科学省初等中等教育局財務課長の伊藤学司様の講演が行われました。現職になられる前に広島県教育委員会教育次長を務められたこともあり、今大会開

催に関する因縁も御披露されました。ここでも「夢」、「志」という言葉が出てきました。講演内容は六項目から構成されました。

### 一、これからの社会

「子供たちは未来の社会を生きる。教育は『現在』ではなく、二十年、三十年、五十年後の『生きる力』を育てなければならぬ。『過去の常識』を押し付けないことは当然のことだが、『現在の常識』にも囚われすぎてもならない。」こと、子供たちの六十五%が大卒後、今は存在しない職業につく時代になり、また機械化がますます進み、人員が削減、将来週十五時間働けば良い時代になり、結果、給料が減額され、食いぶちをどうしていけばよいのかという時代になるかもしれないということでした。人としてどういう役割を担っていくのか予測不可能なのでこのような状況で最善を考えるように育てていくことが大事なのではということでした。

### 二、日本の高校生の現状

日本の学力はOECD加盟国三十二か国中、科学・数学・読解力において一位であるが、学問が楽しいと答える生徒は少なく、学習意欲が低下しているのとことでした。学ぶことに意味があるかどうか分からないが大学に行くために勉強している。こういったことが自己肯定感を低くして、積極的に社会に働きかけない状況を作り出している。米中韓とは対象的であり、無関心、無気力で社会を変え

ていこうとする意識が低く、選挙時の投票率の低下に繋がっているということでした。



### 三、学習指導要領改訂の方向性

今回の改訂では、未来をよりよい社会に変えていく未来の創り手である子供たちに人工知能(AI)が進化しても、目的に応じた創造的な問題解決が出来るよう教育することを大事であり、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」の三つの柱が大事であるということでした。

そのために例えば日本史と世界史を合わせて歴史総合にして学び、今をどう生かせるかを考えさせる、理科と数学を合わせて理数探求にすることにより枠を超えて自然科学的なものの見方を養うなど、大学受験のための学びではなく、激動す

る社会を生き抜く力を養う科目構成にしていくということでした。

### 四、高大接続改革

「高等学校教育」と「大学入学者選抜」が一緒に変わる必要があり、学力の三要素である①知識・技能の確実な習得②(①を基にした)思考力、判断力、表現力③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、を高校で教育して、基礎学力の定着に向け、それぞれの高校が学びの到達度の尺度を作成していくこと、従来のセンター試験の択一問題からこれまでの課題であった「読み」「書き」といった思考力・表現力が問われる新しいタイプの記述式を導入していくということでした。

またインターナショナル・バカロレアを意識し世界と伍していく力を育むことも考えていくとのことでした。社会には明確な正解が出ないこともあるけどよりbetterな答えを選ぶ力を付けることも育むようにしていくとのことでした。

### 五、学校を取り巻く環境

海外と比較して日本の学校は頑張り過ぎており、海外は学力の育成は学校、心の育成は教会・家庭等、体の育成はスポーツクラブ等の地域で行っており、日本では全てを学校が行うことにより教員の六割は六十時間/週の労働時間となっており、更に部活動、経験のない競技で顧問をするとその競技の勉強に時間を割かれてしまう。教員本来の学習指導生徒指導といった業務に専念するために「チー

「ム学校」を実現させ、それ以外の業務は外部・地域の力を借りることを計画されています。

### 六、これからのPTAの役割

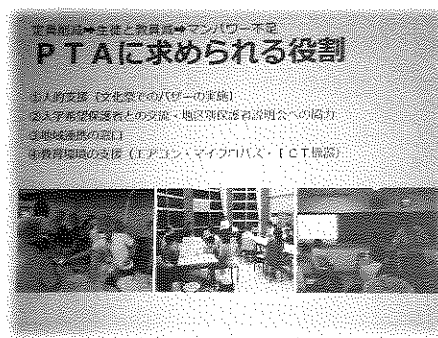
PTAは学校に最も身近な「社会」であり社会の縮図で多士済々な人々の集まり、人材の宝庫であることを認識して、学校と運命共同体であることを認識して一緒に子供を育むことができます。重要な役割と認められています。また支援するだけでなく大人の学びの場として存在するのがPTAとも言われています。とても身のあるお話で会場に詰めかけた皆様も熱心に傾聴していたことが印象的でした。



お品書きまでついていた山口県産の食材を使用した郷土料理が入った美味しいお弁当に舌鼓を打ったあと、お昼からはアトラクションで下関市の伝統芸能「海峡上臈絵巻」が下関舞踏協会の方々によって行われました。源平合戦最後の壇ノ

浦の合戦に敗れて入水した幼少の安徳天皇の祭事ではありますが、平家に使えた女官達のその後の哀史を語り継ぐ悲しみが伝わってくるのと同時にその絢爛豪華な様に圧倒されました。

この後、研究協議に移り、「学校教育とPTA」というテーマで島根県立天上高等学校PTA会長の大屋光宏様が高校存続と魅力化と地域と学校を結ぶPTAを発表されました。

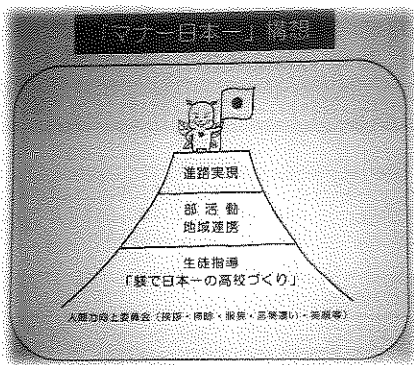


近年、過疎化に伴い常に存続の危機にさらされているとのことでしたが「矢高笑顔！元氣！プロジェクト」として学力の向上・部活動振興・地域との連携など高校の魅力化の向上と情報発信に力を入れられているとのことでした。その中でPTAの新たな役割としてバザーの手伝いを行う①人的支援、②オープンスクールの等における県外入学希望者の保護者との交流、インターシップなどでの③地域との連携をPTAが窓口、エアコン

の設置やマイクロバスの購入、ICT機器の全教室配置の支援等の④教育環境の支援、地区代議員の選出や役員に町外寮生の保護者に就任していただくなど⑤PTA自体の体制強化などを改革中とのことでした。

次に「家庭教育とPTA」というテーマで香川県立高瀬高等学校PTA副会長の矢野智昭様が発表されました。マナー日本一の高校を目指すことで人間力の向上という学力的向上、進路実現に繋がるという考え方で、親が学校との関わりを大事にしてPTA活動に積極的に参加している姿を見せることで親たちの人間力を感じ、応援されていることに感じることも子供たちの人間力に繋がっているのではないかと考え方でPTAが学校祭で出店、親子で行くオープンキャンパスツアーを企画したりしているとのことなどを報告されました。

最後に山口県公立高等学校PTA連合会の活動についてということで、山口県公立高等学校PTA連合会会長の板谷正



最後に山口県公立高等学校PTA連合会の活動についてということで、山口県公立高等学校PTA連合会会長の板谷正

様が山口県高P連アクションプランR O A D T O 二〇二〇を発表されました。二〇一三年に山口県で開催された高P連全国大会で、子供たちが「志」を持つことの大切さを提起し、これをどのように応援できるかを形にするために、「熟議」を取り入れ会員同士が双方向で意見を交換できる研究協議を実現する手法についてと二〇二〇年の学習指導要領の改訂や大学入試改革に向けて山口県高P連が中長期計画を立てて、高校生と大人の対話の場・大人同士の対話の場を提供していくこと、そのために高校生を対象に大学生ボランティアスタッフと会話することにより高校生の心に火を灯すワークショップ形式の出張授業である「カタリ場」を継続・発展させてきたことを報告されました。その後の質疑応答では活発な質問・意見がフロアから出ていました。

最後に閉会行事が行われ、板谷実行委員長挨拶の中で会場から沢山の多くの拍手が会場から上がったことがこの大会が成功裏に終わることを物語っておりま

として次年度開催県として愛媛県高等学校PTA連合会会長の高梨聖丈会長が「ぼっちゃん」の袴姿で登場し、愛媛県の名所映像が流れて、多くの愛媛県の方々が壇上とフロアからPRされています。

非常に内容が濃く、ためになり、インスピレーションを得られた半日間でした。山口県の方々に感謝を申し上げます。

（県高P連幹事 仁泉健太郎）



広島県高等学校PTA連合会

# 高校生総合保障制度

## この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、こども総合保険のペットネームです。〉

- 1. 団体割引25%適用・損害率による割引15%適用** (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
- 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償**
- 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償**  
 ○携行品(学校管理下動産担保特約)の補償は学校管理下中のみです。  
 ○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
- 4. 「スクールメディカルデスク24」で24時間無料電話健康相談サービス付き**  
 ○「スクールメディカル・デスク24」は、東京海上日動メディカルサービス㈱との連携により、同社からご提供いたします。  
 ※詳細はパンフレットをご確認ください。  
 ※補償期間(保険期間)は1年となります。(平成29年4月25日午後4時より平成30年4月25日午後4時まで1年間)  
 ※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

### 〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容	W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	
賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	1事故3億円限度	1事故2億円限度	1事故1億円限度	1事故1億円限度	1事故5,000万円限度	1事故3,000万円限度	
病気入院日額 (1日あたり)	5,000円 (4,600円)	5,000円 (4,500円)	4,000円 (3,500円)	—	—	—	
傷 害	入院日額 (1日あたり) 天災危険補償特約付帯	6,000円 (4,600円)	5,000円 (4,500円)	4,000円 (3,500円)	3,800円 (3,500円)	2,900円 (2,700円)	2,500円 (2,100円)
	通院日額 (1日あたり) 天災危険補償特約付帯	3,500円	3,400円 (3,200円)	2,400円 (2,300円)	2,400円 (2,200円)	1,300円 (1,200円)	1,000円
手術	入院日額の10倍(入院中の手術) 5倍(入院中以外の手術)です。						
死亡・後遺障害	247.0万円 (239.0万円) 天災危険補償特約付帯	239.0万円 (232.6万円)	221.2万円 (214.7万円)	218.3万円 (208.3万円)	202.0万円 (185.2万円)	137.6万円 (126.2万円)	
被害事故補償	1事故1,000万円限度						
育英費用	100万円 天災危険補償特約付帯	100万円			50万円	—	
携行品 (学校管理下動産担保特約) 〈免責金額(自己負担額)〉	1年間で10万円限度 <1事故1,000円>						
年間保険料	16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円	4,650円	
制度維持費	350円	350円	350円	350円	350円	350円	
制度掛金 (1年分)	17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円	5,000円	

○携行品の損害保険金は1年間で10万円が限度(注)となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※こども総合保険については被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数により保険金額が一部変更となることがあります。(上記保険金額は被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数が、5,000名以上10,000名未満の場合です。3,000名以上5,000名未満の場合は( )内の保険金額となります。) ※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について：新規ご加入時の支払責任の開始日より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内はこども総合保険の内容についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 (株)東海日動パートナーズ 中国四国 TEL:0120-018-217 平成29年3月作成(16-T24971)

(引受幹事保険会社)



TOKIOMARINE  
NICHIDO

## 東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社  
 広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー  
 TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

(共同引受保険会社)



AIU損害保険(株)  
広島支店

広島市中区基町11-10  
 合人社広島紙屋町ビル  
 TEL 082-222-4351

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIU損害保険株式会社